

平成18年度 第4回市民活動サポートセンター運営委員会 会議録

平成19年1月18日（木）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 9名……柴崎、多田、伊藤、井上、小野、角田、佐藤、増田、有森
事務局 6名……YMC Aコミュニティサポート 安田、細田、沼崎、高村
市民生活課 小座野、堀井

1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

2 審議事項

- (1) 「よこすか福祉の輪市民会議」は市の健康福祉部の所管による団体なので登録を抹消。
「厚生年金受給者協会 横須賀支部」は年金受給者の共益に資するため、公益性を外す。
- (2) 運営委員の改選について、提案のとおり承認された。
- (3) のたろんプロジェクト報告会について、提案のとおり承認された。準備会委員の人選については事務局に一任することとなった。

[意見概要]

◆ 市民協働推進フォーラム（おとば）について

（事務局・指定管理者）

なかなか一般参加者が集まらず、まだ市民活動をしていない人に向けて、こうした取組みをどのように伝えていくかが課題。参加者へのフォローアップとして「茶話会」を企画した。初回は2月下旬頃に開催したい。

（柴崎委員）

参加者に対してフォローアップを行うのは良いことだ。

（増田委員）

一般参加者が少なかったのはPR不足というより、開催方法に工夫が必要なのではないかと。広報は十分行ったと思う。いつものように会場を借りて開催するのではなく、どこかへ出張してやるとか、企業とのタイアップを行うとか、場所や人の集め方などを工夫していくことが必要である。

（柴崎委員）

おとば実行委員の反省会でも様々な意見が出たが、確かに広報は色々な形で昨年よりも力をいれた。参加団体のアンケートにもあったが、内容がすぐ分かるようなネーミングも必要だったと思う。

（事務局・市民生活課）

毎年11月に三笠公園で開催している産業祭にブースを出店するのもひとつの方法。産業祭は2日間で何万人もの来場者がある。人が集まるイベントで、市民活動をアピールすることができるかもしれない。

（事務局・指定管理者）

茶話会は1月中に参加者、実行委員などの関係者へ連絡を行う。運営委員の方も是非参加して交流してほしい。

◆ のたろんフェアについて

（柴崎委員）

駅側の扉は開放するのか。

（事務局・指定管理者）

フェア開催時間帯（10時から16時）は開放する。

(増田委員他)

会場案内図に車椅子の絵があるが、担当する団体があるのか。置き場所だけではどのように使えばよいか分からないので、案内を加えた方がよい。3台もいないのではないか。車椅子で来場する人はすでに自分の車椅子を使っている。

(事務局・指定管理者)

車椅子を置くか置かないかを含めて確認する。

◆ のたろんプロジェクト進捗状況について

(事務局・指定管理者)

「高校生、大学生による市民活動プロジェクト」は11月19日に「市民活動合コン（スカコン）」を無事開催し、現在感想文集を作成中。3月の報告会で配布予定。

「市内外の市民活動の取材と連携イベントプロジェクト」は12月10日の青空市民祭で予定していた企画をすべて終了した。ロッカーリメイクで作成したちぎり絵のカレンダーを関係者に配布したり、販売を行った。

「市民協働の手引きプロジェクト」では、編集がほぼ完成し、のたろんフェアで配布予定である。

「のたろんフェア」は来る2月10、11日に向けて準備中。

1年間かけて行ってきた4つのプロジェクトの総まとめとして3月に報告会を行う。

◆ 公益活動団体について

(事務局・指定管理者)

「福祉の輪市民会議」は、事務局の手違いで登録をしてしまったが、市の健康福祉部の所管の団体なので抹消したい。「厚生年金受給者協会」は年金受給者の共益に資する団体であるため、公益性をはずしたい。

(各委員)

承認

◆ 運営委員の改選について

(事務局・市民生活課)

平成19～20年度の運営委員改選では、市民活動を行っていることを第一義とせず、サポートセンターの運営に関心があり、協力できる人であれば、応募条件を満たすこととしたい。現委員長、委員長職務代理はこれまでの運営委員会の考え方を継続させるために留任し、その他の委員は新たに公募することとする。ただし、現委員は全員再任可能なので是非応募してほしい。

(増田委員)

応募条件として市民活動をやっている人に限定しないのは、サポートセンターを市民活動をしていない人にもより広く周知させる意味でよいのではないか。

(柴崎委員)

運営委員の改選について事務局の提案どおり募集してよいか。

(各委員)

承認

◆ のたろんプロジェクト報告会について

(事務局・指定管理者)

報告事項(5)で少し少し触れたが、のたろんプロジェクトの総まとめとして報告会を行う。3月24日13時半から15時半まで総合福祉会館5階ホールで開催する。各プロジェクトの活動報告と関係者の交流を行い、プロジェクトに関わった人たちが再度集まることにより、仲間意識を強め、今後の市民活動に向けての士気を高めることとしたい。また、のたろんサンバを作ってくれた小宮さんと内田さんの紹介ができていないので、報告会で皆さんに紹介したい。運営にあたっては、各プロジェクトから1、2名ずつ募り準備委員会を結成して行いたい。

(多田委員)

対象にのたろんプロジェクト実行委員及び各プロジェクト関係者約100人と書いてあるが100人も集まるのか。

(事務局・指定管理者)

のたろんフェア運営委員だけでも30人位いる。関係者をざっと数えても100人位にはなる。

(井上委員)

機材はどうするか。パワーポイントで画像を作成すると手間がかかる。今後もこうしたイベントなどで映像を使うのであれば、ソフトを導入してほしい。

(事務局・指定管理者)

パワーポイントはPCルームのパソコンに入っている。報告用の映像は、プロジェクトごとではなく準備委員会ですべてまとめて作成しようと考えている。

(増田委員)

各プロジェクトの報告用映像は各プロジェクトで作ったらどうか。個性がある方がよいのでは。

(佐藤委員)

ある程度一貫性があった方がよい。

(事務局・指定管理者)

準備委員は各プロジェクトから集める予定なので、詳細については準備委員で決めていきたいと思う。なお、委員の推薦については事務局に一任させていただきたい。

◆ その他

(事務局・指定管理者)

昨年の4月に汐入側の扉を閉鎖したり、レターケースや掲示板の場所を変更したりするなどのレイアウト変更を行った。当初、汐入側扉の閉鎖について何件か苦情もあったが、現在は特に利用者からの不満は聞かれない。人の流れを一旦事務所前を通すことによって、不審者も減ったと思う。また、チラシ等の掲示を通り道に置くことで、掲示を見ていく人も増えた。

(柴崎委員)

置き引きもなくなった。すごい効果ではないか。

(事務局・指定管理者)

昨今の今頃、プロジェクトの提案をした。1年間かけたプロジェクトが100年の始まりとなり、次の100年へと繋がっていくような未来のある企画を作りたいということで提案した。この1年間、運営委員の方々には色々な面でご協力いただき大変だったと思うが、来年度の改選にあたり身を引かれる場合も後任者を推薦されるなど、次につながるよう引き継いでいただけたらと思う。

以上